

No.	小説－撮影地	作品名	作家生没年
1	「青銅の基督」－長崎	長與 善郎	長與 善郎 1888～1961 (明治21～昭和36)
2	「青銅の基督」－長崎	萩原祐佐が作ったといわれる踏絵と、 フェレラの署名ある「ころび証文」(改宗したという文)	
3	「青銅の基督」－長崎	オランダ坂 〈東山手町〉	
4	「若い人」－函館	石坂 洋次郎	石坂 洋次郎 1900～1986 (明治33～昭和61)
5	「若い人」－函館	函館山からの眺望	
6	「若い人」－函館	郊外の丘の上にあるトラピスチース(女子修道院)	
7	「桜島」－桜島	梅崎 春生	梅崎 春生 1915～1965 (大正4～昭和40)
8	「桜島」－桜島	桜島岳と大根	
9	「桜島」－桜島	熔岩地帯と鹿児島市	
10	「足摺岬」－足摺岬	田宮 虎彦	田宮 虎彦 1911～1988 (明治44～昭和63)
11	「足摺岬」－足摺岬	足摺燈台	
12	「足摺岬」－足摺岬	清水市の旅宿に草鞋をとく巡礼	
13	「伊豆の踊り子」－伊豆	川端 康成	川端 康成 1899～1972 (明治32～昭和47)
14	「伊豆の踊り子」－伊豆	明るい南伊豆の景色が展く天城峠	
15	「伊豆の踊り子」－伊豆	湯ヶ野温泉、流れるは河津川	
16	「伊豆の踊り子」－伊豆	下田港	
17	「美しい女」－姫路	椎名 麟三	椎名 麟三 1911～1973 (明治44～昭和48)
18	「美しい女」－姫路	姫路城天守閣より望む姫路市街	
19	「美しい女」－姫路	須磨海岸より淡路島をみる	
20	「暗夜行路」－尾道 松江	志賀 直哉	志賀 直哉 1883～1971 (明治16～昭和46)
21	「暗夜行路」－尾道 松江	尾道の漁港	
22	「暗夜行路」－尾道 松江	大山中腹の蓮浄院(手前が志賀氏が滞在した離れ)	
23	「蒼氓」－神戸	石川 達三	石川 達三 1905～1985 (明治38～昭和60)
24	「蒼氓」－神戸	ブラジルへ！	
25	「蒼氓」－神戸	移民のための日用品売場	
26	「潮騒」－神島	三島 由紀夫	三島 由紀夫 1925～1970 (大正14～昭和45)
27	「潮騒」－神島	海女	
28	「潮騒」－神島	神島山上の観測哨跡	
29	「若い詩人の肖像」－小樽	伊藤 整	伊藤 整 1905～1969 (明治38～昭和44)
30	「若い詩人の肖像」－小樽	伊藤氏が教鞭をとった市立中学校教員室	
31	「若い詩人の肖像」－小樽	小樽港	
32	「二十四の瞳」－小豆島	壺井 栄	壺井 栄 1899～1967 (明治32～昭和42)
33	「二十四の瞳」－小豆島	岬の小学校から帰る先生を送る子供たち	
34	「二十四の瞳」－小豆島	醤油の樽作り	
35	「二十四の瞳」－小豆島	鰯の煮干工場と坂手港	
36	「月と狂言師」－京都	南禅寺と東山の月	谷崎 潤一郎 1886～1965 (明治19～昭和40)
37	「月と狂言師」－京都	上田邸にて、茂山千五郎氏の狂言「月見座頭」を観る 谷崎氏夫妻	
38	「月と狂言師」－京都	南禅寺庫裡	